

Business

9. 富士通ゼネラルグループの事業

10. 空調機部門（実績・計画）

11. テックソリューション部門（実績・計画）



富士通ゼネラルグループの事業

高収益化に向けたビジネスラインの再編

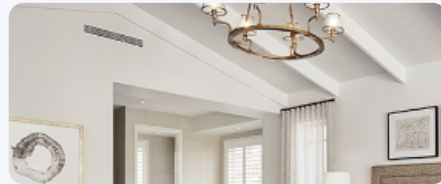
高収益体制の実現に向け、2024年10月よりビジネスラインを「空調機部門」と「テックソリューション部門」の2部門に集約しました。

空調部門

家庭用エアコン（壁掛け・床置き）



//（天井カセット・ダクト）



ビル用マルチエアコン（VRF）



ヒートポンプ式温水暖房システム（ATW）



ユニタリーエアコン（ダクト式全館空調）



サービスソリューション



テックソリューション部門

情報通信システム（消防・防災）



消防システム



防災無線システム

//（民需システム）

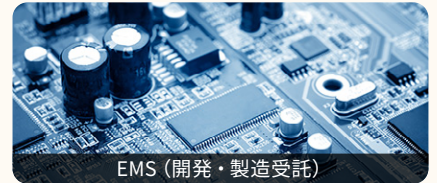


外食産業向けソリューション



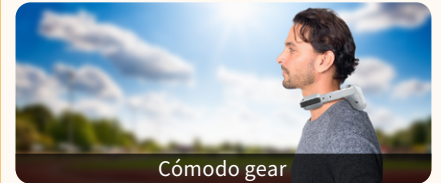
医療向け外来情報ソリューション

電子デバイス



EMS（開発・製造受託）

新規ビジネス



CÓMODO gear

空調機部門 [2023 年度実績]

2023 年度実績

日本国内のルームエアコン市場は、夏期に記録的な猛暑となったものの、業界出荷台数は、高水準であった前年度の反動に加え、物価上昇や消費行動の変化の影響などにより、前年度を下回りました。当社は、上海市都市封鎖の影響による大幅な出荷減があった前年度に対し、今年度は出荷が正常化していることから、省エネ性の高い機種を中心に、主に住宅設備ルート向けの販売が回復するとともに、売価改善にも取り組み、売上が増加しました。

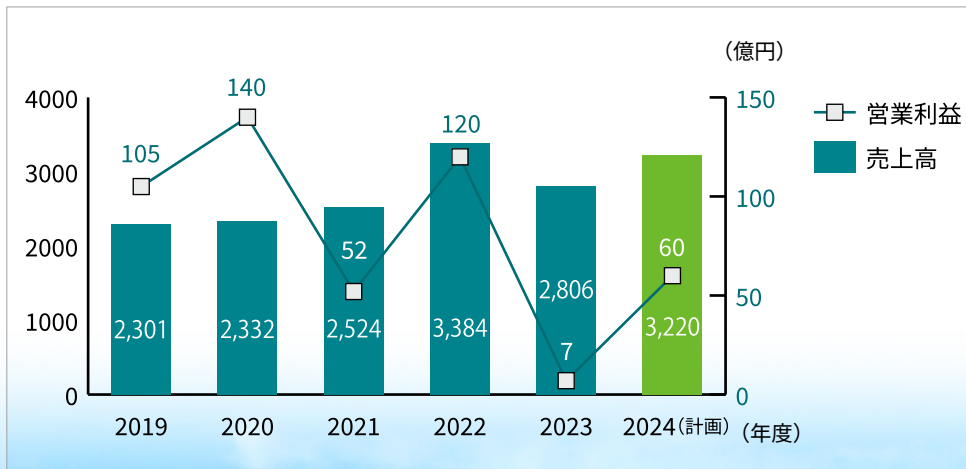
海外では、中東、北米向けの前年度の出荷が高水準であった影響が大きいことに加え、欧州向け ATW（ヒートポンプ式温水暖房システム）の販売減もあり、前年度比で減収となりました。

また、サプライチェーン正常化に伴い、供給が遅れていた受注残の出荷が前年度に大きく進展したものの、商品供給不安解消に伴い販売代理店等からの追加受注が鈍化したほか、各地域での需要停滞などにより、流通在庫が高水準となり、北米等において当初の想定より現地在庫削減に時間を要しました。こうしたなか、出荷を抑制し現地販売促進に最優先で取り組みました。

売上高 **2,806** 億円

日本 491 億円	米州 402 億円	欧州 698 億円
中東・アフリカ 236 億円	オセアニア 366 億円	アジア 468 億円
中華圏 145 億円		

業績推移 (空調機部門)



[2024 年度計画]

空調機部門売上高 (2024 年度計画)

増収 (3,220 億円、+414 億円、現地通貨ベースの前年度比 +12%)

- 日本では、需要最盛期に全国的に猛暑となったほか、住宅設備ルート向けの販売も堅調な推移を見込み、増収の計画です。
- 北米では、現地在庫削減に注力し出荷を抑制した前年同期に比べ、ルームエアコンを中心とした出荷の回復や、米国における環境規制強化前の一時的な需要増などから、増収の計画です。
- 欧州では、上期の天候不順の影響でルームエアコンの販売が減少したほか、ATW（ヒートポンプ式温水暖房システム）においても流通在庫が高水準であることなどから、減収の計画です。
- 中東・アフリカでは、上期における大型プロジェクト案件の納入などから、増収の計画です。
- オセアニアでは、ラインアップ拡充の効果等により、ダクトタイプを中心にエアコンの販売が増加。また、ソリューション事業も好調な推移を見込み、増収の計画です。
- アジアでは、主力市場のインドにおいて、上期は猛暑の影響で需要が好調に推移し、ルームエアコンの販売が増加。また、ソリューション案件も堅調な推移が見込まれることから、増収の計画です。

	2024 年度計画	前年度比	増減率
空調機部門全体	3,220 億円	414 億円	15%
日本	500 億円	9 億円	2%
米州	550 億円	148 億円	37%
欧州	680 億円	▲ 18 億円	▲ 3%
中東・アフリカ	340 億円	104 億円	44%
オセアニア	450 億円	84 億円	23%
アジア	560 億円	92 億円	20%
中華圏	140 億円	▲ 5 億円	▲ 3%

空調機部門営業利益 (2024 年度計画)

増益 (60 億円、+53 億円、7.2 倍)

- 事業強化に向けた費用増があるほか、素材価格や為替動向の先行きが不透明な状況ではありますが、販売拡大による増収効果に加え、全体的なコストダウンの推進により増益を見込んでいます。

■ テックソリューション部門 [2023 年度実績]

■ 2023 年度実績 (情報通信システム)

売上高は、209 億 5 千 1 百万円 (同 54.9%増) となりました。

公共システムにおいて、消防の広域化・共同運用事業の本格化や、防災・減災対応のインフラ整備事業に対する補助政策を背景に、消防指令システムおよび消防無線システムを中心に商談案件数が増加しているなか、受注済みシステムの納入が順調に進展するとともに、民需システムの販売増もあり、売上が増加しました。なお、来年度の納入に向けた受注も順調に推移しております。

売上高 **209** 億円

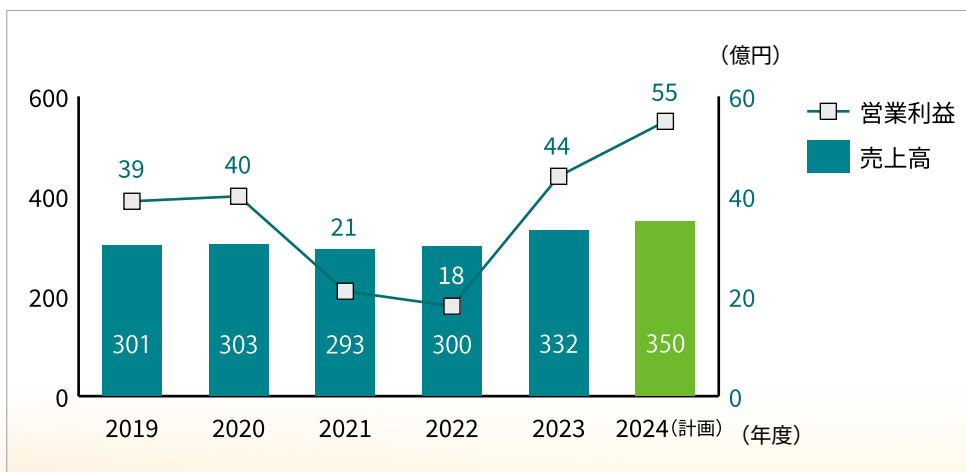
■ 2023 年度実績 (電子デバイス)

売上高は、122 億 5 千 4 百万円 (同 25.3%減) となりました。

自動車生産の回復に伴い車載カメラの販売は前年度を上回ったものの、産業用ロボット向け電子部品・ユニット製造において、中国における設備投資の停滞で販売が減少したことから、売上が減少しました。

売上高 **123** 億円

■ 業績推移 (テックソリューション部門)



*「情報通信・電子デバイス部門」としていた報告セグメントを、2024年10月1日より「テックソリューション部門」に変更しております。

■ [2024 年度計画]

■ テックソリューション部門売上高 (2024 年度計画)

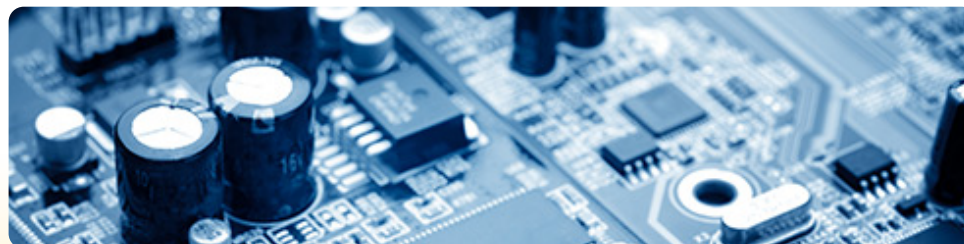
増収 (3,000 億円、+194 億円、現地通貨ベースの前年度比 +11%)

- ・情報通信システムでは、消防指令システムおよび消防無線システムを中心に商談案件数が増加しているなか、受注済みシステムの納入の順調な進展を見込み、増収の計画です。
- ・電子デバイスは、車載カメラの減収のほか、産業用ロボット向け電子部品・ユニット製造において、中国における設備投資の停滞による販売減を見込み、減収の計画です。

	2024 年度計画	前年度比	増減率
テックソリューション部門全体	350 億円	18 億円	5%
情報通信システム	255 億円	46 億円	22%
電子デバイス	95 億円	▲ 28 億円	▲ 22%

■ テックソリューション部門営業利益 (2024 年度計画)

増益 (55 億円、+11 億円、+24%)



* セグメントの変更に伴い「テックソリューション部門」と記載しておりますが、現在影響額を算定中のため表記のみの変更とし、2024 年度計画については、従前の「情報通信・電子デバイス部門」の数値としております。